



# しろくまだより

- 温暖化で絶滅の危機『しろくま』を救え in やつしろし -

編集/発行 2024.1.23 八代市環境課 TEL33-4114

## 《今回の記事》

- ・油流出事故に注意しましょう
- ・PM2.5や光化学スモッグに関する情報に注意しましょう
- ・ペットを飼っているみなさまへのお願い

これまでの「しろくまだより」は  
市ホームページでご覧いただけます

しろくまだより



サイト内検索に入力↑

QRコードを読み取り↑



## 油流出事故に注意しましょう

毎年、農業用施設や事業所などの貯油タンクや配管、暖房施設から油が流出する事故が発生しています。その原因の多くは、管理不備や操作ミスといった人的ミスです。油が河川などに流出すると、上水道や地下水、農業、漁業などに大きな影響を及ぼすおそれがあります。

特に今の季節、家庭や事業所、農業用ビニールハウスなどで暖房用の燃料油の使用が多くなります。今一度、タンクなど設備の点検をお願いします。

万が一、油の流出事故が起きた場合は、速やかに関係機関（市役所、保健所、消防、警察など）へ連絡するとともに、流出先の確認や流出防止対策の実施、流出した油の回収などの応急処置をしてください。



### ～油の流出事故を未然に防ぐために～

- タンクや配管、ボイラーを定期的に点検し、破損がないか、周囲に臭いや土に油染みがないか必ず確認してください。（地下に埋設されているものも含む。）
- 設備に腐食や劣化、老朽化している箇所がないか確認してください。
- 継ぎ手がずれていないか、ネジは折れていないか確認してください。
- タンクなどに給油する前に、バルブが締まっているか確認してください。
- 油の残量はこまめに確認し、油の減りがいつもより多い場合は、すぐにバルブを閉め、配管等から漏れがないか確認してください。
- 防油堤の設置をお願いします。
- 不要になった油は処理業者等に処理を依頼してください。

**油の回収・処理には多額の費用がかかり、その費用は原因者が負担することになります。**

## PM2.5や光化学スモッグに関する情報に注意しましょう

例年、これから春にかけて、大気中のPM2.5や光化学スモッグの原因である光化学オキシダント濃度が高くなる傾向にあります。大気中の光化学オキシダント濃度が基準値を超えたり、PM2.5濃度が暫定指針値を超える可能性がある場合、熊本県が注意報等を発令します。

県内のPM2.5や光化学オキシダントの状況は、熊本県が一時間ごとの速報値を「熊本県の大気環境の状況」（県ホームページ）で公表していますのでご活用ください。

【PC・スマートフォン用URL】 <https://kumamoto-taiki.jp>

【携帯用URL】 <https://kumamoto-taiki.jp/mobile/>

熊本県の大気環境の状況

検索

「大気環境情報メール」への登録がお済みでない方は、ぜひご登録ください

右のQRコードから「sky@123123.tv」へ空メールを送信して熊本県の大気環境情報メール配信サービスへ登録手続きをされますと、光化学スモッグ注意報の発令やPM2.5注意喚起などの情報をメールで受信することができます。



## ペットを飼っているみなさまへのお願い

飼い主になるということは、ペットに関して全てに責任をもつことです。「ペットの命を預かる責任」「ルールやマナーを守り、周辺地域に迷惑をかけない責任」を果たしましょう。



<b>病気の知識と予防</b>	動物の病気や感染症等について正しい知識を持ち、その予防に必要な注意を払いましょう。
<b>終生飼養</b>	動物の種類や習性などを正しく理解し、動物がその命を終えるまで飼い続けましょう。
<b>迷惑防止</b>	鳴き声や毛などの飛散、臭い、排泄物など、日頃から周囲の方への配慮を心掛けましょう。
<b>繁殖制限</b>	飼っている動物が増えすぎて管理ができなくなるような不妊・去勢手術をしましょう。
<b>災害対策</b>	備蓄品の準備、避難訓練、日常生活におけるしつけ等をしておき、災害時には同行避難しましょう。
<b>逸走防止</b>	動物が逃げ出したり迷子にならないように、必要な対策をとりましょう。
<b>身元表示(所有明示)</b>	飼い主がわかるよう、首輪、迷子札、マイクロチップ等をつけましょう。

出典：動物愛護管理法  
新・普及啓発用パネル「みんなで守ろう!!飼い主の7か条」(環境省)

市ホームページからもご覧いただけます →→→



【お問合せ先】 環境課 TEL:33-4114



## “広げよう！エコ8(エイト)行動”

### <環境行動4> “資源物”はきちんと分別します。

- ごみ分別アプリ「さんあ〜る」などを活用し、ごみをきちんと分別しましょう。
- ビニールの小袋や包み紙など、小さな資源も大切に分別しましょう。